

MAMIYA CAMERA-PHOTO LIFE SUPPORT



マミヤカメラクラブ

マミヤカメラクラブはマミヤカメラをご愛用の方ならどなたでもご入会いただける写真クラブです。マミヤカメラクラブ会報誌 (Mamiya Gallery) の発行 (原則年2回)、プロ写真家による撮影会・勉強会・セミナーの開催、webギャラリーで会員の作品展示、マミヤ製品修理・点検料金の割引等と会員特典もたくさんあります。マミヤカメラに関する情報、会員相互の視察と写真技術向上をめざし、素晴らしい写真の世界をご堪能ください。



入会費用

入会金 1000円 (税込)
年会費 3000円 (税込) ご入会日より1年間。
※但し2年分の年会費をご入会時にお納めください。

特典

- マミヤカメラクラブ会報 (Mamiya Gallery) の発行。
- クラブ撮影会の開催。
- 勉強会・セミナーの開催。
- ホームページ上に会員作品ギャラリーの開設。
- マミヤ製品修理・点検料金の割引。
- 会員証、オリジナル会員バッジ提供。
- オリジナル会員名刺制作 (有料)。

●製品・修理に関するお問い合わせは、東京サービスセンターへご相談ください。

- 修理をはじめオーバーホール、清掃等を受けます。
- 東京サービスセンターショールームにはマミヤ全機種を展示しています。
- 実際に製品を手にとって操作感や質量感を確かめられます。また、選定のアドバイス、操作上の疑問にもお答えしています。

マミヤ・デジタル・イメージング株式会社

東京サービスセンター
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-2-2 ココタイラビル 1F
TEL.03-6748-1983 FAX.03-6748-1991
営業時間 9:00~17:50 土、日、祝日は休業



マミヤカメラクラブ事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-39-14 ワイズビル 株式会社ワイズクリエイト内
TEL.03-5689-2776 FAX.03-5689-2786
E-mail :info@mamiya-club.com

- マミヤカメラクラブの入会お申込み等お気軽にお問い合わせください。
- 撮影会・イベントのお申込み・お問い合わせを承ります。
- 下記、ホームページでも詳しくお知らせ致しております。是非ご覧ください。

マミヤカメラクラブホームページ <http://www.mamiya-club.com/>

●株式会社ワイズクリエイトでは、下記のような業務を行っています。

- マミヤカメラ製品・大判カメラ販売を致しています。
- 撮影アクセサリ、ザックの販売を致しています。
- プロラボ現像・プリントを承ります。
- 撮影会・ワークショップ・セミナーを開催しています。

ワイズクリエイトは写真を通じて人と人、人と自然とのコミュニケーションを確立する事を目的とするフォトオフィスです。

大判カメラ専門ショップを展開、自然写真家、山岳写真家による写真セミナー、撮影会の開催、写真集の出版、写真レンタル、各種制作業務等、写真に関するソフトとハードあらゆる業務を行います。

www.yscreate.co.jp



Mamiya Gallery

MCC マミヤカメラクラブ会報誌

Vol.
23
2013

©photo by Shin Yoshino

写真家・吉野 信 マミヤを語る



水木沢天然林にて 叶悠眞撮影

今号の巻頭特集は、今年 5 月にマミヤカメラクラブ主催の新潟・大蔵寺高原周辺の森撮影会を担当して頂いた写真家・吉野信先生に登場頂きます。いつもオシャレでダンディな吉野信先生のマミヤカメラとの出会いはとても古く 2 眼レフのマミヤ C3 の時代でした。現在もマミヤ 7 II を愛用している吉野信先生の、マミヤカメラの思い出やこれからの取材活動までお聞きしてみました。

Q. 初めてマミヤカメラを使ったのは？

桑沢デザイン研究所 (1919 年、ドイツ・ヴァイマルに設立された工芸・写真・デザインなどを含む美術と建築に関する総合的な教育を行った学校バウハウスの思想を継承した日本で最初のデザイン教育機関) の学生だった時の卒業制作で、鎌倉のお寺の写真を 2 人一組で撮影したのですよ。その相棒がマミヤの C3 と言うカメラを借りて使っていて伸ばしたときのプリント (モノクロ) を見たとき、私の持っていた 35 ミリと比較してあまりもの画質の違いに愕然としたのでした。その影響でその後マミヤ C3 を購入しました。それが私にとって初めてのマミヤカメラでした。その後、次のカメラを購入する時にこのマミヤ C3 を相棒に譲りましたが、相棒は今でもそのカメラを使っているそうです。

次のマミヤカメラはマミヤ RB67 でした。このカメラはレボルビングが出来るのが便利なカメラでした。そしてレンズ沈胴式のマミヤ 6 は交換レンズ 3 本用意しました。現在はマミヤ 7 II を愛用しています。因みに僕がカメラに惹かれるのは先ずデザインです。マミヤカメラはなかなか良いデザインをしていると思いますよ。



吉野 信 (よしのしん)

1943 年生れ。桑沢デザイン研究所卒業。1972 年フリーの写真家としてスタートして以来アメリカ、インド、アフリカなど世界各地を訪ねては野生動物や自然の写真を撮り続けている。写真集に「アラスカの詩」「ロッキーの野生」「タイガーオデッセイ」「アクアオデッセイ」他。著書に「ネイチャーフォト入門」「ロッキーが呼ぶ」などがある。自然美術館シリーズには「天鏡」「樹相」に続き「大地」「飛翔」「夢陸」も発行されている。現在日本写真家協会、日本写真協会会員。



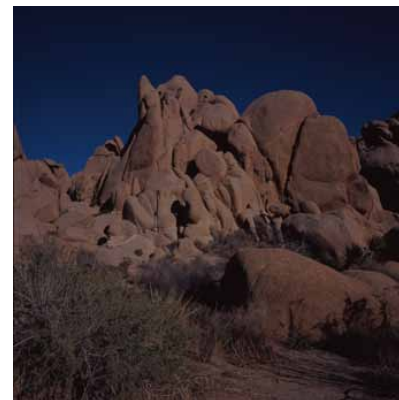
Q. マミヤカメラでの思い出は？

マミヤ RB67 は、先にも言いましたがレボルビング出来るのとレンズシャッターが良いですね。丁度フリーとなった時期で、ちょっと大きかったけどこのカメラで八ヶ岳の風景写真を沢山撮りました。また 250 ミリレンズを装着してアオバズク (フクロウの仲間) を撮影したり、公表された写真としては最初か 2 番目になると思いますがツシヤママネコの写真も撮影しましたよ。この写真は仕掛け方式で撮影しましたが、バッチリとツシヤママネコの横顔を捉えていて当時の「アニメ」で紹介されています。

よく中判カメラでは動物の写真等は撮影出来ない等と言いますが、そんな事は無くて周りの風景を入れて撮影するには最適なカメラですよ。レンズシャッターでシャッター音は小さいし電池もいらなし、かさばるけどそんなに重いカメラではありませんね。

マミヤ 6 は、ボディとレンズ 3 本、あわせて持っています。現在はマミヤ 7 II を中心に使っていますが、マミヤ 6 から継承されているカメラデザインが魅力ですね。それと何と言っても交換レンズが豊富な事とレンズ性能が良いことが良いです。

あっ、そうそうプライベートな話ですが、私の新婚旅行にマミヤの C3 を持って行きましたよ。まさか新婚旅行にこの様な 2 眼レフカメラを持って行く人はいないと思いますが良い思い出ですね。



岩山 (ジョシュア・ツリー国立公園 アメリカ)
ニューマミヤ 6 75mm/F3.5 f22 オート
表紙: (アンテロープ・キャニオン アメリカ)
ニューマミヤ 6 50mm/F4 f22 オート



サボテンの一種 (ジョシュア・ツリー国立公園 アメリカ)
ニューマミヤ 6 75mm/F3.5 f22 オート



ブナの巨木 (新潟県・大蔵寺高原)
マミヤ7II 65mm/F4 f22 オート

Q. マミヤブランドについては？

マミヤは昔からある歴史あるブランドと認識しています。以前マミヤカメラクラブの会報誌を見て、そこに掲載されていた会員の作品がみんな凄いなと思った事を記憶しています。機会があればこの会報誌に作品を掲載してみたいと思っていましたが今回はこれが実現したことになりますね。マミヤは格調あるカメラブランドですね。今後も素晴らしいカメラを提供して欲しいですね。

Q. 写真家・吉野信さんと言えばテレビの「徹子の部屋」にも動物写真家として出演されたり一般的には動物写真家のイメージが強いと思うのですがご自身はどの様に思われますか？

吉野信は動物写真しか撮れないと思っている人もいると思いますが、年齢と共に興味の対象も広がってきて現在は巨木や水のある風景を撮影をしています。特に滝のある風景が好きですね。もちろん野鳥の写真も撮影しますが、ただ止まっている可愛い鳥を撮るのではなくアクションのある鳥を撮りたいと思っています。因みに今、自宅近くに川にササゴイと言う鳥が飛んできて川の中のオイカワを捕食していますがもう少し経ったらいなくなっちゃうので今はこれに集中しています。要するに何を撮ろうと言う事はあまり計画していないで、気に入ったものが撮れば良いと思っています。本当に写真が好きなんだと思いますね。いやもしかしらカメラが好きなのかも知れませんがね。現在撮影可能なカメラだけでも100台以上ありますよ。



松を彩るツタの紅葉 (山梨県・小淵沢)
マミヤ7II 43mm/F4.5 f22 オート

Q. 吉野信先生は銀塩フィルムの35ミリ、中判、大判とデジタルカメラをお使いですが、使い分けについてお聞かせください。

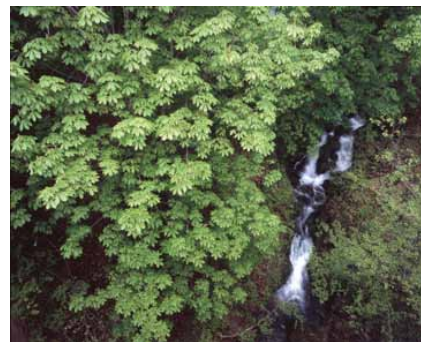
デジタルは感度も上げられて早いシャッターが切れるので、最近は鳥や動物写真を撮るのに適していると思います。ただ、じっくり落ち着いて撮影する時にはフィルムが良いと思いますね。フィルムカメラの中判と大判の使い分けは、撮影場所と撮影目的により違いますね。あとは気分ですよ。ただ海外取材には大判カメラは持って行きづらいので中判カメラまでにはしていますが、今後はわかりません。

また、フィルムの色再現はデジタルにないものと思います。デジタルカメラで撮影している人もフィルムで撮影してフィルムの良さを認識すれば、デジタル写真撮影にも活きると思います。何しろフィルムの良さは撮影しなければわからないものと思いますが、大伸ばしプリントで見せる写真展は中判以上のフィルムは絶対有利だと思いますね。そしてデジタルの場合は確実にこれと言った記憶媒体が確立していると思わないので最後に残るのはフィルムだと思いますね。





棚田の夜明け (新潟県・十日町)
マミヤ 645 1000S 70mm/F2.8 f22 オート



谷あいの流れ (群馬県)
マミヤ 7II 150mm F4.5 f22 オート



仙娥滝 (山梨県)
マミヤ 7II 150mm F4.5 f22 オート



姫仙の滝 (群馬県)
マミヤ 7II 65mm/F4 f22 オート



小中大滝 (群馬県)
マミヤ 7II 80mm/F4 f22 オート

Q. マミヤカメラクラブ会員にメッセージを。

先日のマミヤカメラクラブ主催の撮影会を担当させて頂き感じたのですが、いかにもマミヤカメラを使っていて楽しんでいる事が伝わってきました。私はそれで良いと思います。頑張る必要なんかなくて好きな被写体に向かってカメラを構えて楽しめればいいんですよ。また撮影会には是非参加してくださいね。きっと何か得るものが有ると思います。



厳冬の溪流 (福島県・楡原湖付近)
マミヤ 7II 150mm/F4.5 f22 オート



不動滝 (長野県)
マミヤ C330 55mm/F4.5 f22 1/30



不動滝 (群馬県)
ニューマミヤ 6 75mm/F3.5 f22 オート

『朽ちていく風景 再生しない街』



新井博幸さん

廃墟を会場にした芸大のアートプロジェクトに参加した事がきっかけで強く影響を受け、「朽ちていく風景 再生しない街」をテーマに撮影を始めました。
戦後の高度成長期を支えた工場や建物が、時代の流れに取り残され消えていく姿を正面から写真に記録する事に、そこで生活していた人々も高齢化が進み限界集落となり最後は消滅集落になってしまう事実をみると、違った角度から廃墟を撮影出来ると思います。
廃墟の情報は極端に少なく時間を掛けて調べ上げて稼ぐしかありません。行く毎に朽ちて再生する事が無い街は、変化があり被写体に事欠きません。防犯上の問題から厳しく立ち入りが制限されたり、取り壊されてしまうので定期的な見回りも大切です。
撮影カメラは主にミヤマ RZ67ですが、リボルビングバック機構が便利でファインダーのピントの山がはっきりしていてお気に入りのカメラです。



公衆浴場の錆びた屋根と釜山
RZ67 II 180mm F32 1/30 秒 RVP50



管理職が住んでいた社宅 軒下の柱が腐食
RZ67 II 65mm F16 1/60 秒 RDP III



子供の声が残る事はない小学校のプール
RZ67 II 50mm F32 1/15 秒 RVP50



社宅長屋の二階 廊下から部屋を望む
RZ67 50mm F32 1/30 秒 RDP III

「廃墟は宝の山」

マミヤカメラユーザーを訪ねて。

新井 博幸 (あらい ひろゆき)

1967年 埼玉県熊谷市生まれ。
小学生の時に流行ったスーパーカー、ブルートレイプームがきっかけで110カメラを購入し写真始める。高校の時は写真部に入りモノクロの現像焼付けに明け暮れる。高画質な写真が撮りたく25年前にRZ67を購入して、尾瀬や北八ヶ岳、鉄道、航空機、神社仏閣、廃墟、ポートレート撮影をライフワークとしている。RZ67、RZ67 II、7、C330Sを所有。日本リンボクラブ会員。埼玉 YPC 会員。熊谷ポートレートクラブ代表。



40年以上前に廃止になったロープウェー 二度と動くことは無い
RZ67 50mm F16 1/15 秒 RDP III



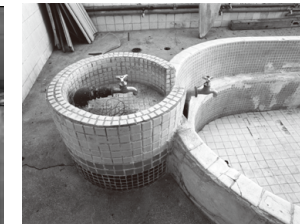
昔は車庫だった。タイヤが哀愁を感じさせる。
RZ67 110 mm F16 1/30 秒 RVP50



変電所の窓にボーリングのピンが何故有るのかは不明 震災の影響で倒壊してしまった
RZ67 II APO350mm F32 1/30 秒



講堂の卓球台とイボ状になったラケット 後ろに割れたLPレコード
RZ67 II 50mm F32 2 秒 T-MAX400



共同浴場のタイル浴槽。2つの蛇口が印象的。
RZ67 50mm F32 2 秒 T-MAX400

セコニック・吉澤隆史さんに聞く。

今号の「この人を訪ねて」は、ママヤカメラクラブ会員の皆様と撮影会、セミナー等で一番接点のあった、前ママヤカメラクラブ事務局長の吉澤隆史さんの登場です。吉澤さんは今年から露出計でお馴染みのセコニック社に転職され、キャリアとネットワークを活かし露出計販売で大活躍をされています。今回はセコニック社の吉澤隆史さんとして露出計について熱く語って頂きます。



ママヤカメラクラブ会員の皆様、ご無沙汰しております。ママヤカメラクラブ事務局長当時は大変お世話になりました。今、私は株式会社セコニックで露出計のプロモーションをしています。今回このような機会をいただき、会員の皆様と露出のお話と最新の露出計のご紹介をさせていただきます。

◎露出の2種類の測定方法

露出の測定方法は2種類の方法があります。ひとつは反射光式、もうひとつは入射光式です。反射光式はカメラ内蔵の露出計と同じなので皆さん親しんでいると思いますが、被写体に当たり反射してきた光を測定する方法です。撮りたい被写体にファインダーを向けて測光します。野外での風景撮影など離れた被写体やネオンなどの透過光を計るのに適していますが、被写体の色（の反射率）や明るさに露出が左右されるので、皆様が悩まれる露出補正が必要になります。ただスポット測光のできる露出計を使用すればピンポイントの測光ができますので、露出補正の値が導き出しやすくなります。どんな色、どんな物を測光したらどれだけ補正するということを頭で覚えておけば露出に迷う事がなくなります。



色や濃度によって反射率が違うので、その露出補正値を覚えておくとうい

一方、単体の露出計を使用すると入射光式の測光ができます。入射光式は被写体の位置で被写体に当たる光そのものを測光するので、被写体の色や明るさに左右されことなく標準露出が得られます。近くの被写体や、遠景を撮る場合でも自分のいる位置と同じ光線状態にある場合入射光式で測光したほうが確実です。測光した値から自分なりの味付けで明暗の調整を行います。



中央部重点平均測光で測定

入射光式露出計で測定

◎表現できる露出の範囲を把握する

露出を決めて撮影しても、フィルムのラチチュードは決まっています。構図内の明暗差によっては白とびしたり、黒つぶれする部分が出てきます。デジタルカメラにおいてもカメラによってダイナミックレンジが違いますので、どれくらいの露出差の範囲まで表現できるかが露出の決定にもかかわってきます。この、どれくらいの範囲まで表現できるかを露出計を使って知ることができます。これが最新の露出計に組み込まれた「露出プロファイル」という機能です。

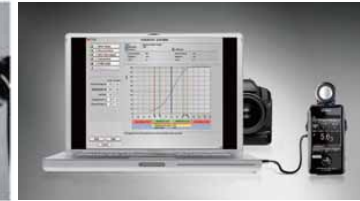
◎露出の範囲を知る「露出プロファイル」を作ってみる

デジタルカメラの場合の運用法をご説明しますと、セコニックのプロファイルターゲットIIというグレーチャートで、標準露出、+3段オーバー、-3段アンダーで撮影します。この画像データを、Data Transfer Software という専用のソフトに取り込みます。必要な露出情報を入力し解析すると、そのカメラの露出のプロファイルデータが完成します。このデータをUSB接続で露出計に転送すると、露出計内に自分のカメラの露出のプロファイル（明るさを再現できる範囲を含んだデータ）がインプットされます。

写真をキーワードに生の声を聞く。
この人を訪ねて ②



プロファイルターゲットIIを撮影



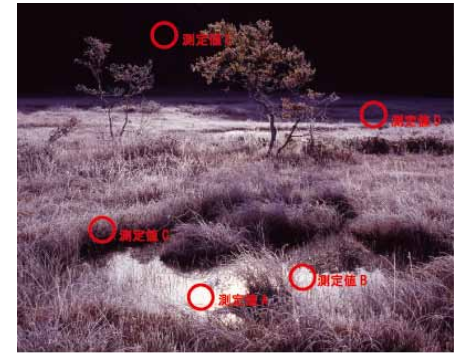
Data Transfer Softwareでプロファイル作成

◎露出プロファイルを使ってみる

まずは撮影しようと思う露出を測光します。その値をミッドトーンとして登録します。（画面内のツールボックスでミッドトーン設定にタッチするだけ）するとミッドトーンを中心として画面のスケール上に再現領域が表示されます。あとは構図内の各部分を測光してみると、その部分の露出がどの明るさに位置して、再現可能なかを知ることができます。

スケールのレンジ上グリーン（再現領域）の範囲がグラデーション豊かに写る「再現領域」イエローの部分が「許容範囲」レッドの範囲は白とび、黒つぶれの「再現領域外」になります。これを見ながら、再現できる範囲内に露出をシフトする、もしくは意図的に黒つぶれさせるなどの表現に活かすことができます。

ピントの話に例えると、ママヤ7IIなどのレンズの被写界深度メモリを使ってパンフォーカスやボケの表現範囲を予測し、ピントの合っている範囲を調整するゾーンフォーカスに似ているといえるでしょうか。ちなみにフィルムの場合はチャートを撮影したフィルムをスキャンしてデータを解析するか、値を手動で入力する方法があります。中判カメラのような階調性が豊かな大きなフィルムや撮像素子を使用するカメラの撮影では尚更ラチチュードの把握が大切になってきます。



再現領域表示
設定した露出（ミッドトーン）に対して画面内に分布する各部の露出が再現可能か一目でわかる

◎露出プロファイル機能を搭載した露出計


この機能を搭載した写真用の露出計はデジタルマスター L-758D とライトマスタープロ L-478D の2機種があります。デジタルマスター L-758D は入射光式と反射光式（スポット測光1°）が一緒になった2 in 1 の最高機種です。また L-478D は別売のビューファインダーを使用することで5°のスポット測光に切り替えができます。タッチパネル式のカラー液晶パネルを採用した最新の機種で視覚的にも携帯性にも優れた機種です。それぞれに様々な機能がついており、フラッシュ光の測光にも対応しています。フラッシュ光の測光時には定常光とフラッシュ光の割合も知ることができ、日中シンクロや定常光を活かした雰囲気のあるフラッシュ撮影などに有効です。カメラと同じように露出計も世界の写真映像文化を支える為、進化しています。ご興味のある方、ご質問のある方は事務局もしくはセコニックまでご連絡ください。また私もママヤカメラクラブの撮影会の際にでも同行させていただき、会員の皆様のお姿を拝見させていただければと思います。

ママヤカメラクラブ会員特別販売

今回、ママヤカメラクラブ会員の皆様へ、露出プロファイル機能を搭載したセコニックライトマスタープロ L-478D とセコニックデジタルマスター L-758D の2機種を特別価格にてご提供させていただきます。特別価格の期間は2013年12月27日までとなっております。この機会に是非ご利用ください。


◎セコニックライトマスタープロ L-478D

希望小売価格：¥50,400 (税別 ¥48,000)
 会員特別価格：¥37,500 (税別 ¥34,000)



◎セコニックデジタルマスター L-758D

希望小売価格：¥73,500 (税別 ¥70,000)
 会員特別価格：¥52,500 (税別 ¥50,000)




◎購入に関するお問い合わせ
 ママヤカメラクラブ事務局
 TEL：03-5689-2776

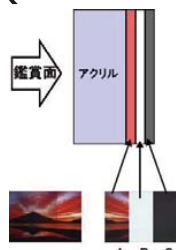
◎露出計に関するお問い合わせ
 株式会社セコニック 第2営業部
 TEL：03-3978-2366
 L-478D スペシャルサイト公開中→
<http://www.sekonic.jp/478/>

アクリルダイレクトプリント 新しい写真の形 フォトナ (Photorna)^{※1}

フォトアクリルは写真の印象に透明感が増し、奥行きのある感じが良いということで大変注目されています。最近では若い方が好んで利用されているようです。フォトナはアクリルの裏面にダイレクトにプリントする事で写真を貼った時に発生する微妙な歪みや気泡/シワ/塵の付着等を皆無にしています。プリントは、大型のフラットベッドを有するUVインクジェットプレス(LuxeJetUV350GTW)を用いて、①アクリル裏面への左右反転画像データ(A)の高精細プリント、②反射光で鑑賞できるようにするための白インク(B)プリント、③裏面側からの光を遮断する黒インク(C)プリントの3段階で行います。

プリントの動画はホームページでご覧いただけます。<http://www.photorna.jp/purin.html>

 株式会社スズキ グラフィカル・スタジオ
〒250-0117 神奈川県南足柄市塚原701-1



フォトナの種類とタイプ



切り落としタイプ



クリアタイプ



オーバーマットタイプ



オーバーマット黒+白線

Photo-na-Pro	アクリルサイズ	700×565mm	クリアタイプ¥17,000 (税別) / 切り落とし・オーバーマットタイプ¥19,000 (税別)
Photo-na-compact	アクリルサイズ	483×329mm	全タイプ¥9,500 (税別)

フォトナへの思い

写真を楽しむ方が増えている一方で、写真を買うという文化が日本では育たないとよく聞きます。これには絵画と異なり投資の対象になり難いこと、また、写真を額装して飾っておくと傷みやすいこと、コピーが容易なこと等が関係しているかもしれません。このようなことを考慮し、フォトナの商品名は、写真(作品)としての価値を持ちながら、装飾品として手軽に利用してもらおうとの思いからPhoto(写真)+Ornament(装飾)の両方から造語「Photorna(フォトナ)」と命名したそうです。写真の高画質を得るために、プロ写真家の富塚晴夫先生の協力を頂き、当初中々写真画質がプリント出来ないなか、先生の作品や先生指導の「わくわく写真教室」展示会を通して、ポジフィルムのスキャニングの問題、プリンターと銀塩写真の色特性相違の問題等一つ一つ解決して、2012年7月正式に発売されました。そして現在も品質向上に取り組んでいます。



山中湖ギャラリー
山梨県南都留郡山中湖村旭日丘508-389



山中湖ギャラリー



わくわく写真教室展示風景



富塚晴夫 先生

日本写真家協会会員
1947年 神奈川県生まれ 日本大学芸術学部写真学科卒
卒業後すぐに渡米し永住権を取得。ハリウッドの広告写真スタジオ「イメージオブゼブン」を設立。アメリカの著名な俳優や歌手の広告写真を担当。個展開催や写真集の出版を行う。'86年に帰国してからは山中湖写真スタジオを設立し、広告写真をはじめ風景写真も手がける。'97年には「山中湖写真ギャラリー」を開設。以後、富士山を題材にした写真展を国内外で開く。写真教室の講師や審査などでも活躍中。

装飾としての価値

「写真は銀塩でなければならない」という話を聞きます。フォトナは従来の写真を否定するものでなく、新しい写真の表現のひとつです。手軽に自宅に飾りたいと思ったり、プレゼントに写真が利用される事が少しでも増えれば素晴らしい事です。写真愛好家は、当然のことながら、画質に対するこだわりが強く、いい写真作品でないと思われないとされているようです。一方、写真には特に興味がないけど、ちょっと家に飾ってみたいという人は写真全体の構図や家の雰囲気に合った額等を選択の基準にされていると思われまます。このように装飾に関する考えは、写真愛好家の方々と、一般の方々とは差があるようですが、どちらにせよフォトナを見た人は「家に飾れる写真」と印象を持つようです。愛好家の方がプレゼント用にPhotorna-Compact(フォトナ・コンパクト/左頁「フォトナの種類とタイプ」参照)を選択するケースが多いのはこの様な事情によるものかもしれません。また、プロ写真家のU-SKE(鈴木雄介)先生は作品をフォトナだけでなくアクリル4cm角のキューブにプリントしていますが、女性に非常に人気があるそうです。このように写真を飾りたいというシチュエーションを増やす事が、今後重要になってくるのではないのでしょうか。



U-SKE 先生

2009年 studio voice/日本の写真家100人へ選出
1976年生まれ
19歳のときに訪れたオアフ島ノースショアの波に魅せられカメラを持つ。足跡はカメラ片手に波の中へと泳ぎ、日本各地、世界のサーフポイントを訪れるフォトジャーナリストとして活動。その独自の視点で撮られた作品たちは多くの雑誌やアートショーで発表されている。
神奈川県平塚市に自身のギャラリーを構え、海との生活の中で写心を創作している。



フォトナの強み

ペーパープリントの展示は裏打ち・額装が必要であるため、費用が掛かります。フォトナはアクリルに直接プリントしていますので裏打ちが不要で、かつ、額装なしでの展示ができます。ペーパーへのプリントと比較すると割高感がありますが、裏打ち・額装しての展示と比較すると費用は断然安くなります。プロ写真家の秦達夫先生は3.11復興支援「6人の写真家たち-光・風・色」NATURE PHOTO AID2013(ミュゼふくおかカメラ館)の展示で18点のフォトナを採用されました。今までにない展示は、来場者から大きな反響があり、特に、画像周辺の余白(透明アクリル)から得られるクリア感が女性の支持を得ていたようです。秦先生は「紙と言う選択肢しかなかったプリントをフォトナは変えてしまった。このインベーションは作品のイメージを大きく膨らませ写真の新たな価値観への架け橋になると思います。」と語っています。サイズも壁面に合わせた多様性を持ち合わせたフォトナは費用面からも新たな提案ができる商品のようです。



ミュゼふくおか カメラ館 「6人の写真家たち-光・風・色」



作品サイズ 1070mm×800mm、写真部分は全幅相当の900mm×600mmの特寸サイズによる展示



秦 達夫 先生

日本写真家協会会員・日本写真協会会員・EOS学園講師・Foxfireフィールドスタッフ
1970年 長野県生まれ
自動車販売会社退職後、バイクショップに勤務。写真家竹内敏信氏のアシスタントを経て独立。故郷の湯立神楽「霜月祭」を16年間取材した「あらびるでな」で第8回藤本四八写真賞受賞。
「山岳島-麗久島」写真集(日本写真企画)は8年間で400日を超える取材を敢行。

フォトナ特寸特別キャンペーン 25%OFF

今回、秦達夫先生がご利用されたフォトナの特寸アクリルサイズ1070mm×800mmで画像サイズ全倍(900mm×600mm)をマミヤカメラクラブ会員の方々に特別価格でご提供させて頂きます。写真を飾りたい、写真をプレゼントしたい、写真展の予定のある方などは是非この機会をご利用ください。期間限定となっていますのでお早めにお申し込みください。

期 間：2013年12月末日
価 格：通常価格 42,000円(税込) 40,000円(税別)
特別価格 31,500円(税込) 30,000円(税別)
申 込：マミヤカメラ事務局(ワズクリエイト)
TEL 03-5689-2776 FAX 03-5689-2786
info@mamiya-club.com

▶▶▶ 吉野信指導「大蔵寺高原のブナ林撮影会」2013 report

2013年5月24~26日に指導講師に写真家・吉野信氏を迎え新潟県十日町の大蔵寺高原等周辺で撮影会を開催しました。大蔵寺高原周辺は未だ雪が残っていて被写体的に絶好の撮影日和でした。残雪の中から木々がよきとそびえ立ち、枝には新緑を誇らしげに晒して「私たちが撮って」と言わんばかりです。参加者は各々お気に入りの風景を切り取り精力的に撮影です。その様子をご紹介しますとともに皆さんの作品も鑑賞してみましょう。



第一集合場所の事務所の次は、東京駅八重洲ブックセンター前が第二集合場所です。ここからは遠地の方も集合が楽ですね。



東京から高速道路を使って新潟の大蔵寺高原へ。長旅も何のそので、みんな元気で撮影準備です。



サファリハットがとても似合う指導講師の吉野信さん。いざ出陣です！マミヤ7Ⅱと大判カメラのリンホフを準備。



5月下旬の大蔵寺高原にはまだ雪が残ります。新緑と雪のコントラストがとても素晴らしい雰囲気を感じます。



あまりにも豊富な被写体に、どこを切り取って良いのやら迷うほどでした。



マミヤ 645DF を駆使して撮影に集中する女性会員。残雪を見越して足下の準備も万全でした。流石ですね。



吉野信先生、お薦めのブナの巨木を沢山のカメラマンが取り囲みます。果たして誰の写真が一番良いかな？



ブナの巨木に近づいてスナッフ。良くこの場所のブナを見つけたと吉野信先生に感嘆です。素晴らしいブナでした。



撮影会ツアーは基本的にシングル仕様のホテルに宿泊します。ですから夕食は地元食材が一堂に集まる料理屋を利用です。



撮影会2日目の午前は有名な松之山の美人林を訪れました。誰が名付けたか知りませんが、名前の割烹料理屋を利用です。



2日目の午後は大蔵寺高原の牧場を流れる小川に自生する水芭蕉を撮影です。牧場の中に何故水芭蕉が？不思議です。



大蔵寺高原の雰囲気にも慣れて参加者が各自自分に合った被写体を探しに歩き出しました。きっと素晴らしい写真が・・・



3日目は予定を変更して、長野県栄村の野々海池周辺に移動。残雪からよきと飛び出る木々を見て思いきり春を感じます。



地元の小中学生がブナの観察に訪れていました。自然一杯の環境の中での課外授業は格別ですね。良い写真も撮れそうです。



撮影お疲れ様でした。昼食後、一路東京へ向かってバスを走らせました。果たして皆さんの作品は？結果は下を参照です。



井川クキ子 「早春」



井川クキ子 「イワウチウ咲く」



豊島富三郎 「林間静謐」



豊島富三郎 「老樹泰然」



飯塚光男 「夫婦榎」



井出多美夫 「大地の息」

▶▶▶ 参加者作品発表



米澤 章 「仲良く」



米澤 章 「大樹を支える」



飯塚光男 「樺の池」



松井光夫 「緑の風」



松井光夫 「代を履いて」



井出多美夫 「静林」

中判デジタル を楽しみましょう。

マミヤ・デジタル・イメージング株式会社
福澤 強志



デジタルバックを装着した645DFを持つ福澤強志氏

マミヤカメラクラブ会員のみなさんは既に 35mm デジタル一眼レフカメラをお持ちのこと
と思います。デジタルカメラも、最初は 35mm カメラからスタートして中判デジタルへ、
更には大判デジタルへとステップアップされるものと思われそうですがいかがでしょうか。
デジタルカメラも発売されて久しく、フィルムカメラを知らない層の方が購買層の主流と
なってきつつある昨今、マミヤとしてもデジタルの楽しみ方をご提案して参りたいと考
えております。デジタルと一口に言いますが、スマートフォンからコンパクトデジタルカ
メラ、35mm デジタル一眼レフカメラ、大判デジタルカメラと多種多様なデジタルカメ
ラが存在しますが、ここで取り上げるのはもちろん大判デジタルカメラです。

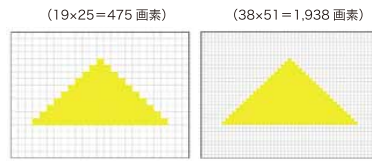
なぜ中判カメラを、ブローニーフィルムを使うのでしょうか？

みなさんが中判カメラをお使いになる理由は種々あるかと思いますが、カビネサイズ以上に
プリントする際の高画質、臨場感の 1 点に大凡集約されるのではないのでしょうか。大判と
もなれば 4x5" の密着、ベタ焼きで L サイズですから、35mm フィルムとの画質には当然
差が出てきます。大伸ばしするにはそのサイズに合った大きなフィルムが必要になります。
ここで質問です。これをデジタルに置き換えるとうどうでしょうか。

予想通りです。フィルム同様大きな撮像素子 (CCD や CMOS など) が必要になります。よく
画素数が多ければ高性能、高画質と思われがちですが、画質 (階調) は画素そのものの大き
さに依るところが大きいので、高画質を求めるとすれば画素数と画素の大きさを意識する
必要があります。画素数は多ければ多いほど、高精細に記録します。(図を参照ください。)
図① オリジナルの三角形をそれぞれ、図② 約 500 画素 (縦 19 画素 × 横 25 画素)、図③
2,000 画素 (縦 38 画素 × 横 51 画素) で分解 (撮影) すると、図② のように、分解能 (画素数)
が低いと撮影された画像がモザイク状で、精密に再現できていないのがわかります。
高画素数であるほど分解能が高く、精密に再現することができます。



図① オリジナル



図② (約 500 画素の絵) (モザイク状になってしまう)
図③ (約 2,000 画素の絵)

ただし、もう一度良く画像を見てください。(よく見なくても分かります
が...) 図② 500 画素と図③ 2,000 画素の 1 画素の大きさが違います。
画素が大きい方が、受光面積が大きく、画素の小さい物に比べ、より多
くの光が必要になります。言い換えれば、画素が大きい方は受光量が多
いということです。受光量が多いと言うことは、画素が小さく受光量が
少ないより大量の光のデータを使って色や階調を豊に表現できること
ということです。図④ を見ていただければ一目瞭然です。(受光している
様子をビーカー状の器で表現しています)
これらのことから次の事が言えます。

→画素数が多いと高精細な画像を得られる

→画素が大きいと受光量が多く、色や階調を豊に表現できる



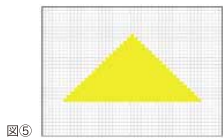
図④ (画素が大きい) 光の量が多い (画素が小さい) 光の量が少ない

それでは先の図② 500 画素の絵と図③ 2,000 画素の絵ではどちらが良いのでしょうか？

答えは、皆さん大判ユーザーはおわかりですね。

「高画素且つ画素の大きいもの」です。フィルムと同じです。高精細、高品質な画像を得るには
高画素でそれぞれの画素が大きなもの、即ち大きな撮像素子 (CCD/CMOS センサー) が必要
になります。

右の、図⑤、図⑥ では画素数は同じ 2,000 画素ですが画素の大きさが違います。画素の大きさ
を一定に保って画素数を増やすとすると、面積を大きな物にしなければなりません。
大判デジタルは、使われる撮像素子 (CCD センサー) が大きいので、フィルムと同じように、
フォーマットの小さいカメラに比べ、画像に立体感があります。(所謂ボケ味)

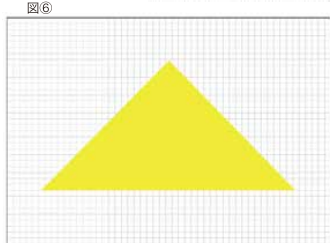


図⑤

大判用のデジタルカメラバック

マミヤ RB67、RZ67、645AFD II / III、645DF / DF+ カメラに装着して使
用できるデジタルカメラバックには次の物があります。これらはみなフィル
ムホルダーのようにボディに装着してデジタル撮影を行いますので、フィル
ムホルダーと両方持っていれば、フィルムホルダーとデジタルバックを取り
替えて両方の撮影を楽しむことができます。

従いまして、撮影技法、フィルター他アクセサリーの使用もフィルムと全く
同じです。お持ちの中判カメラシステムに追加するだけですすべてのカメラ資
産を有効に活用できるだけでなく、ハイエンド、ハイクラスのデジタルカメ
ラに変身します！デジタルで撮影したいときに、フィルムホルダーを外して
デジタルバックを取り付けるだけの簡単操作です。



図⑥

大中判用のデジタルカメラバック▶▶▶

PHASE ONE

デンマークのデジタルバックメーカーでトップシェアを誇ります。
3100 万画素から 8000 万画素までラインアップされています。

Leaf

イスラエルのデジタルバックメーカーで PHASE ONE 同様デジ
タルバックの老舗で 2800 万画素から 8000 万画素までラインアッ
プされています。

これらのデジタルバックをマミヤ RB67、RZ67、あるいは 4x5"
カメラに装着するには各種アダプターを介して行います。



PHASE ONE P+ デジタルバック シリーズ



Leaf Aptus-II デジタルバック

PHASE ONE IQ デジタルバック

デジタルバックアダプター▶▶▶



RB67 用デジタルバックアダプター HX704

RZ67 用デジタルバックアダプター HX705

4x5" 用デジタルバックアダプター HX402

マミヤ645AFD III / 645DF & デジタルバック▶▶▶



マミヤ 645AFD III / 645DF & デジタルバック
デジタルバックがアダプターを介さず直接装着
できます。

マミヤカメラクラブ会員様向けの特別キャンペーン価格とデジタル勉強会のご案内。

- マミヤ 645DF+DM28 キット 会員限定特別価格 990,000 円 (税込)
- 【内容】 ○DM28 デジタルバック (Leaf Aptus-II 6 2,800 万画素デジタルバック 姉妹品) **限定 3 台**
- マミヤ 645DF+ カメラボディ
- マミヤセコール AF80mm F2.8 LS D (リーフシャッターレンズ: 1/1600 秒までストロボ同調)
- デジタルバックアダプター HX704 (RB67 用) または HX705 (RZ67 用) ○デジタルバック接続コード
- マミヤ 645DF+Aptus-II 8 キット 会員限定特別価格 1,470,000 円 (税込)
- 【内容】 ○Leaf-Aptus-II 8 デジタルバック (4,000 万画素デジタルバック) **限定 3 台**
- マミヤ 645DF+ カメラボディ
- マミヤセコール AF80mm F2.8 LS D (リーフシャッターレンズ: 1/1600 秒までストロボ同調)
- デジタルバックアダプター HX704 (RB67 用) または HX705 (RZ67 用) ○デジタルバック接続コード
- マミヤカメラクラブデジタル勉強会
「大判カメラのデジタル化について」
- 開催日: 2013 年 11 月 12 日 (火) 14 時~ ○場所: マミヤカメラクラブ事務局 ○お申込み: 03-5689-2776

裏磐梯と中瀬沼の森撮影会 (10/25~27)

《石橋 睦美 撮影指導》

アマチュアカメラマンが羨望し撮影会も多数開催されている裏磐梯ですが、森の写真家・石橋睦美先生にとって初の裏磐梯撮
影会です。果たしてどの様な裏磐梯を案内してくれるか楽しみな撮影会です。

- 開催日 2013 年 10 月 25 日 (金)~27 日 (日)
- 集合 25 日 第一集合場所 マミヤカメラクラブ事務局
第二集合場所 東京駅八重洲口 八重洲ブックセンター前
- 解散 27 日 夜 東京駅、事務局
- 指導 石橋 睦美
- 参加費 72,000 円 (税込)
- 撮影地 檜原湖、五色沼、中瀬沼等
- 宿泊先 会津周辺ホテル (シングル仕様)
- 備考 全行程チャーターバス (中型) となります。



石橋 睦美



銀杏舞う東大構内の撮影会 (12/7)

- 開催日 2013 年 12 月 7 日 (土) 11 時~15 時
- 集合 11 時 マミヤカメラクラブ事務局
- 撮影地 東京大学構内。
- 参加費 無料。



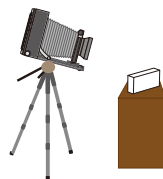
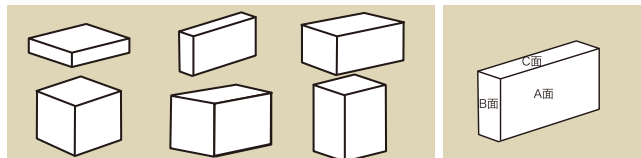
※上記撮影会はワイズ大判写真の会との共同開催となります。

大判カメラのすすめ

その3

「大判カメラのすすめ」も今回で3回目になります。大判カメラのアオリを多少なりともご理解頂きましたでしょうか？それでは今回は実際に大判カメラのアオリが多用されている商品写真でアオリ効果を検証したいと思います。通常商品は下のイラストの様に箱型で表現される事が多いのですが、この箱の3面を特長を活かし撮影するのがプロのカメラマンなのです。箱の3面とはA、B、C面となりますが各面の写真に写る面積を調整して被写体の配置とカメラポジションを考慮します。では実際に撮影に入りたいと思います。先ず被写体となる箱を探しに近くのコンビニに出かけ一番説明しやすい商品を選別しました。そしてそれは箱形になったスパムの缶詰でした。さて撮影は・・・。

木戸 嘉一



《スパム缶を1面、2面、3面で撮影する》

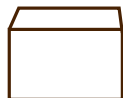
大判カメラと標準レンズ(150mm)を三脚にセットします。先ず、最初にカメラを被写体と平行に構えスパム缶のA面のみを撮影してみました。この写真では、この缶詰がスパム缶であることは解りますが、果たしてどの位の大きさか判断が付きません。



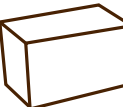
次に、カメラと被写体の平行関係を維持して、スパム缶を右に振って撮影しました。これでこの缶のB面が露出し、奥行きが表現されて、ある程度の大きさが判明しました。



次は、カメラと被写体の平行関係を崩し、カメラを被写体よりも上にセットして、スパム缶を俯瞰するポジションで撮影しました。これでスパム缶のC面が写りましたが、C面には缶開けのためプルトップがあることが判明です。前のB面とA面の2面撮影と比較して、同じ2面撮影でもこれだけ視覚効果が違う事が理解出来ます。

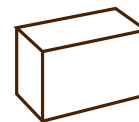


いよいよA面、B面、C面の3面全部を使った撮影です。この3面の面積比ですが、私は商品名と写真のあるA面がメインで、簡単に開ける事の出来るプルトップのあるB面が次で、内容表示のあるC面がその次に順列を付けてカメラポジションを決定しました。いかがですか？これで通常のカメラを使ったスパム缶の商品写真としてはある程度の完成でしょう。ところがこれからアオリ機構のある大判カメラの出番なのです。

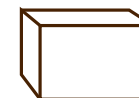


《スパム缶をアオリを活用して撮影する》

さて、アオリを使わない3面写真を見て気になる所はありませんでしたか。面積配分もちょうど良くこれでいいじゃないか。と言う方が多いかもしれませんが、写真をよく見ると俯瞰して撮影している分、缶の上部と下部の大きさが違う事に気がきます。要するに缶の垂直線が出ずに上部が大きくなっている、頭でっかちな写真となっているのです。大判カメラでは右写真の様にアオリを使って垂直線を修正し、より商品写真らしく撮影することが可能なのです。



更に、スパム缶の左から右にパースがついているのがお解かり頂けると思いますが、ここで更なるアオリ技法を使い、このパースを修正し通常の視覚ではあり得ないかもしれませんが、A面をパースの無い長方形で表現することも可能なのです。デジタルカメラ全盛の今の時代には少なくなりましたが、昔はこの形が商品撮影の完成写真として認識されていたのです。もう一度じっくり写真を撮影するスタンスに立ち返ってもいいかもしれませんね。



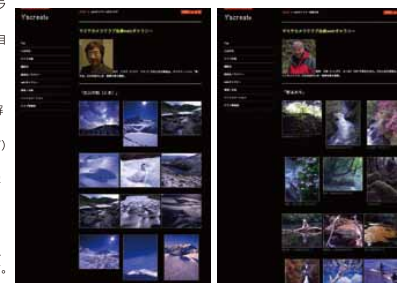
マミヤカメラクラブ web ガラリーに貴方の作品を掲示しませんか？

マミヤカメラクラブのホームページ (www.mamiya-club.com) の中に会員が作品を発表できる web ガラリーを開設致しました。クラブ会員ならばだれでも展示可能ですから是非ご利用ください。

《マミヤカメラクラブ web ガラリー掲載について》

ガラリーはマミヤカメラクラブ会員ならば誰でも作品展示できる web ガラリーです。ただし作品はマミヤカメラで撮影されたものに限ります。マミヤカメラクラブの会員ならばあなたでも web ガラリーに掲載できます。下記項目をお読みいただきお申し込みください。

- (1) ガラリーには15点迄作品をアップできますが追加する場合は最高30点迄で1点315円(1年間)の別途費用がかかります。
- (2) web ガラリーに申し込みされる場合は画像サイズを長辺500pixel、解像度72pixelのJPEG又はGIFフォーマットで事務局迄お送りください。
- (3) 上記作品には名前(英文字、番号(半角))を付けてください。(和文不可) 作品展示順はこの番号順となります。(例) kido001.jpg 又は kido001.gif
- (4) ガラリーにはタイトルを付けてください。(例)「尾瀬の四季」「山岳写真あれこれ」
- (5) web ガラリーで使用する作者の略歴とポートレート写真を同時に用意してください。(ポートレート写真の掲載不要の方は略歴のみ)
- (6) 作品をスキャンしてJPEG又はGIFフォーマットにできない場合は、スキャン作業を代行致します。この場合は1点につき315円がかかります。
- (7) ガラリーの作品を変更する場合1点につき210円の費用がかかります。



その他ご不明な事などは遠慮なく事務局にお問い合わせください。

編集後記

セコニック露出計特集は如何でしたか？担当者のポートレートを見て「おやっ？」と思われた方は多いと思います。マミヤカメラクラブ事務局を担当していた吉澤隆史さんだったので、事務局がワイズに移管されて一番多かった質問が「今、吉澤さんは何をしている？」でした。会員の皆様から親しまれていた吉澤さんは、現在セコニック社で写真知識やネットワークを活かして大活躍していますが、何時かクラブイベントのゲストとしてもお呼びしたいと思っています。ご期待ください。また、マミヤデジタルカメラの特集にも同社・福澤強志さんが登場です。福澤さんは、日本でのデジタルカメラバック黎明期から10年以上ミスターデジタルバックとして業界の先頭を走ってきた人です。マミヤガラリーという媒体を通して久々の共演(?)となりましたが、お二人にはこれからも益々の活躍を期待したいと思います。事務局 木戸嘉一